

海外留学報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	理由についてはいくつか挙げられます。海外に行ったことがなかったことや、英語だけを話す環境に身を置きたかったこと、海外の英語での授業を受けてみたかったことなどがあります。将来海外で働きたいと思っているので日本とは違う世界に慣れる必要があると感じました。自身の英語のスキルを伸ばすというのも目的の一つです。個人的にはリスニングとスピーキング、語彙力を伸ばせたらいいなというのが当初の目的でした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業時間は60分で、日本とは違い先生も学生も積極的に意見交換や行動するのでとても面白いです。なのでいつも気づいたら授業が終わっていました。先生は親切で優しくフレンドリーです。最初の授業で、先生から私を友達だと思ってと言われた時は楽しくなる予感がありました。生活面では、朝昼兼用で学校内の屋台に足を運んだり、近くのレストランに行ったりで、晩も似た感じでした。困ったのはシャワーで個室が4つあるのですが、二つしかお湯が出ません。とても熱いお湯が出るか水が出るかの極端なものです。部屋の中はエアコンと扇風機が設備されており、昼間は快適ですが晩は切らないと寒くなります。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	自分の今の英語力がどれ程なのかを試した結果、スピーキングに関しては、もっと練習して英作文などで訓練すればもっと話せるようになると感じました。リスニングに関しては、会話の8割以上は聞き取れるし理解できる感じでした。ですが、日本では絶対聞かないフレーズや知らない語彙が出てきたときは？という感じになりました。それでも、リスニングに関しては自分が思っている以上の成果が出せました。海外の料理が自分の口に合うか不安でしたが意外となんとかなりました。ただ野菜が少ないという印象でした。チキン専門のレストランがあるくらい、チキンがよく食べられているようです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今年また海外に行くつもりなので、今回の研修で学んだことを活かせるようにしたいです。何より英語で会話することに抵抗がほとんどなくなったので、機会があれば日本でももっと喋りたいです。今いろいろな国の留学生と友達になることに強い関心を持っています。英語を通じて話すことに抵抗がない状態で、もっと友達が増えるかもしれないというのが楽しみです。今年中にTOEICでハイスコアを取りたいので、そこで今回伸びた英語力が活かせると思います。
5. 自由記述	

提出日 2024 年 3 月 4 日

海外留学報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	夏期のグループ型の英語研修とは違い、一人ひとりにバディが付くバディ制度に惹かれました。また、同じアジア圏でも日本とは全く異なる文化、習慣、食事、環境などに触れてみたいと思い参加しました。バディ制度を利用し、たくさんの現地の学生と関わり友達になり、コミュニケーションを取って自身の英語力を上げたいと思い参加しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業は友達同士の日本語も使用禁止で、英語しかない環境での授業でした。分からない単語など英語で教えてもらえるのでとても英語力向上につながったと思います。生活面では、フィリピンは日本に比べてとても物価が安く、学内の飲食店では200円前後で食事が出来ました。レストランでも一人当たり500~600円程度で食事することが出来ました。フィリピンは日本に比べて道路の整備などのインフラが行き届いていませんでした。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	自分のバディ以外にも現地の友達ができ、沢山コミュニケーションを取ることが出来ました。また、フィリピンの人とはとても優しく色々なサポートをしてくれました。フィリピンの学生は人の名前を覚えるのが早くとても驚きました。話したことのない人でも名前を知ってくれていたり、向こうから話しかけてくれてとてもフレンドリーだと感じました。授業でも日本語を一切使わず、バディタイムも英語しか使わなかったのでも英語力が伸びたと思います。フィリピンは食事を手で食べる文化があり、自分も試して文化の交流を図りました。日本とは環境が全くと言っていいほど違い、信号機がない中で道を渡ったりタクシーの相乗りをしたりと、語学力を伸ばすだけでなく良い経験ができたと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学先で学んだ様々な文化や言語力を活かして国際的な仕事に就きたいです。また、これからたくさんの国を訪れ多くの文化に触れ、自分の将来のキャリアに役立てたり、日本を訪れた外国人の助けになりたいと考えます。そのために語学の勉強など、今以上に励みたいと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 3 月 6 日

海外留学報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	3	年
プログラム名						
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	前回は行ったイギリス留学で、自分がどれほど英語ができないかということや思った以上に自分が怖がりだということを知りました。この怖がりや怖いことから逃げるのを克服しようと思い、もう一度挑戦しました。また、イギリス留学では一生に一度の素敵な思い出を作れたので、新しい友達とまた楽しい思い出を作れたらいいなと思いました。そして、もっと国際的な感覚と知識、経験を身に付けることで、これからの就職活動に有利になると思い留学に参加しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	私たちはAIRというクラスだったので他のクラスよりは1時間早く授業が始まり、朝の9時から15時まで4つの授業がありました。週に2日ある2限目の授業では、高校生と一緒に会話をしながら授業をします。授業が終わるとバディタイムがあり、各自バディと街を回ったり、ご飯に行ったりしました。休みの日は、バディと会っている人もいましたし、一緒に留学した仲間と海を見に行ったり夜はトランプをしたりと、それぞれ自由に過ごしました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	イギリス留学の時は、英語を話すことに対して怖いという感情や恥ずかしいと思うことがあって声にならないことが多かったのですが、今回のフィリピン留学では嫌でも話さないといけない状況に3週間いたので、注文や小さな会話を怖がらずに出来るようになりました。外国人の友達を作りたいとずっと思っていたのでまた必ず会おうと思う友達が出来たのがすごく嬉しかったです。フィリピンは危険で怖いところだと思っていましたが、ドウマゲッティは安全で、人もすごく優しく温かく印象が180度変わりました。また、この3週間はフィリピンになじみたいと思い、出来るだけ現地のもを食べたり、手で食べる文化などにたくさん挑戦しました。少しでも国際的な感覚を身に付けることができたのではないかなと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	海外ではパスポートの紛失や財布の盗難など、トラブルがたくさん起こります。自分が次に海外に行くときも、十分気をつけようと思います。また、私はこれから就職活動に入るので、この3週間で本当に素敵な経験をしたこと、学んだことを上手く伝えられたらいいなと思います。就職に活かせるようにしたいです。
5. 自由記述	3週間すごく心配をかけたと思います。サポートありがとうございました！色々なことがありましたが、本当に良い経験が出来ました。また、フィリピンに行きたいです。ありがとうございました！

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者D】

所属	経済	学部 国際コミュニケーション・観光学科	学科	3	年
プログラム名	フィリピン・英語研修				
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)				
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学		

1. 留学した理由、目的・目標	<p>私が留学を決めた理由は、学生の間にはできることをしようと思ったからです。人生何でも経験なので、経済的な問題は少しありましたが、それを理由に挑戦しないのは後悔が残ってしまうと思い挑戦しました。特に留学は、私が大学で最も挑戦したいことの一つで、今回で二度目の留学でした。一回目の留学でリスニング力が上がったので、今回の留学ではスピーキング力を上げることを目標に参加しました。さらにパディ制度もあったので、フィリピンの友達をたくさん作り、日本に帰国しても英語の勉強を教えてもらったり、日常会話を英語でコミュニケーションできるようにしようと考えていました。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>授業は、二週間は一コマ時間が、毎日四コマあり、最後の一週間は三コマでした。最初の二週間の四コマ中一コマは、シニアハイスクールの生徒たちと一緒に授業を受ける時間でした。残りの三コマは、神戸国際大学の学生がクラス分けされており、そのクラスごとにリスニング、スピーキング、リーディングを学びました。授業はクラスによりませんが、大体15時から16時に終わり、そこからそれぞれパディタイムを過ごしていました。パディ同士が仲良く、皆でご飯を食べに行ったり遊びに行くことが多く、二人きりというのはあまりなかったです。寮は二人部屋か三人部屋で二段ベッドの部屋でした。部屋には二段ベッドと机と小さな棚だけおいてあり、トイレとシャワーは共同でした。正直シャワーの水圧はとても弱く、場所によっては強いシャワーもありましたが、水しか出てこなかったり、逆に熱すぎたりでした。トイレトペーパーは自分たちで買わないとありません。</p>
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	<p>行く前は治安のことや生活環境に不安しかなく、やっていけるのか正直不安でした。しかし、実際行ってみると意外と自分で生活しやすいスタイルを自分で生み出して上手に生活できました。今回の留学での一番の学びは、英語もちろんですが文化について特に考えさせられました。フィリピンは、トイレトペーパーがないのが当たり前で、ホームレスの方も多く、治安も良くはありません。渡航前にネットや人からもらう情報では、日本人は狙われやすいというのもあり、危険だ、生活するのは難しい、というようなコメントが多かったですが、実際に行ってみないとわからないことがほとんどです。用心することはとても大事で重要なことですが、フィリピンの方は優しくフレンドリーな方が多く、警戒心を強く抱きすぎるのは、それはそれで少し失礼になってしまうのではないかと私は思いました。私も最初は怖かったので、あまりフルーツを食べなかったり、レストランの水は飲まないようになどしていましたが、その国にいるのなら少し危険なのも承知の上で挑戦するのもいい経験だと思い、そこからフルーツに挑戦したり、レストランの水もどうしても喉が渇いたときは飲むようにしました。それで体を壊すことももちろんありますが、今回はフルーツもとてもおいしくて、屋台のスムージーも飲むことができて新しい発見につながりました。日本の恵まれた環境に気づかされたのと同時に、世界にはたくさんの国があるんだと改めて感じました。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>フィリピンでは、手でご飯を食べる文化があり、今回初めて手でご飯を食べました。私は海外旅行が大好きで、大学卒業後は色々な国で働いて様々な経験をしたいなと思っています。今回の留学で文化の理解について考えさせられたので、今回の経験を活かし、さらに多様な国の文化を知り、理解し、それぞれの国の文化を実際に体験したいと感じました。また、今回の留学でなんでも積極的に挑戦することが大事だと気付かされたので、これからはもっとたくさん自分のしたいことや興味のあることにどんどん挑戦し、たくさんの経験をして後悔のないよう生きていきたいです。</p>
5. 自由記述	<p>私たちが困っているとき、頻りに連絡をくださったり、個人的に相談に乗ってくださり、ありがとうございました。</p>

提出日 2024 年 3 月 11 日

海外留学報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光学科	学科	3	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	英語が苦手なので英語を話せるようになりたいと思っていました。英語だけではなく、海外での生活の仕方や文化についても、実際に自分で行って学びたかったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	シリマン大学の授業では英語の勉強やプレゼンテーションをしました。その他に、ドゥマゲッティ観光、バディーとの交流、寮での集団生活などがありました。日本ではコインランドリーは無人ですが、フィリピンではどこのコインランドリーに行ってもお店の人が常について、洗濯機を回してくれました。アクティビティでは、山に行ってボートに乗り観光をしました。深い霧がかかっているのが綺麗で感動しました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	フィリピンでの生活の仕方は日本とは全然違います。日本だと信号機があつて当たり前ですが、ドゥマゲッティには信号機が一つもなく、最初は慣れていないので道路を渡る時とても大変でした。生活面では、寮のシャワーの水が出にくかったり、急に停電になったり新しい発見が沢山ありました。改めて日本の生活の素晴らしさが身に染みてわかりました。 バディーやシリマン大学の先生は皆さん仕事熱心、勉強熱心で見習わなければならないなと思いました。パスポートは常に身につけなければいけないことも実感しました。 フィリピンの人は英語の発音が良くて、聞き取るのが難しかったです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	生活面では色々学ぶことが多かったため、どんなところでも生活できるようになりたいです。実際に現地に行くと英語の発音がとてもよく、英語を話せるだけでなく、発音もきちんとしなければ伝わらないと思いました。英語をもっと勉強して、英検などにも挑戦してみたいなと思いました。
5. 自由記述	寮の部屋に複数人いると夜寝る時間が違ったりと、共同生活の大変さを学びました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 3 月 11 日

海外留学報告書

【参加者F】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	僕がこのフィリピン英語研修に参加した理由は、まず一つ目に、英語のスキルを上げたいと思ったからです。自分の今の英語能力だと、少しだけ英文を雰囲気では理解することはできますが、実際に会話などで使ったりすることはできません。そのため、実戦的な経験が欲しいと思いました。そして、現地の人々とのコミュニケーションを英語を使ってとることで、より楽しく身につけやすくレベルアップできるのではないかと考え、今回のプログラムに参加させていただきました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での活動内容は、毎日決まった時間に3時間授業があります。これは現地の先生が教えてくださるとも親しみやすいもので、英語が苦手な人にもわかりやすい形態の授業でした。そして、シリマン大学が組んでくれたアクティビティもありましたが、残念ながら参加者が体調を崩し一つは中止になりました。生活面は、私たちは大学の中にある寮に住んでいたのですが、食事付きではないので自分たちで買い出しに行ったり、外食で済ませたりしていました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	今回の留学で、僕の目標は英語でのコミュニケーションになれるということでしたが、これに関しては自分の予想を大幅に超えて達成できたと思います。このプログラムの一環で、現地の学生と話す機会がとても多く用意されていたのですが、ぼくはその機会を最大限利用させていただいて、自分で使える自由な時間をほとんど全て現地の方々と話す機会に充てていました。そのため、最初は簡単な会話の中でも聞き取りが難しく、ゆっくり話してもらったり、何回も聞き返してしまったりということがとても多かったのですが、一週間も経つとその頻度もかなり減っていきました。自分が話したい内容の英文や、相手がちちらに対して聞いていることの内容がずっと頭に入るようになってきたからです。なので、やはり日本で行う英会話とは違い、現地で実際に生活の中で英語に触れてみる、ということは絶大な効果があると実感しました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	学業とは直接関係ないことにはなりますが、正直もともと海外に行くということに抵抗を感じており、海外旅行ですらためらってしまうくらいだったのですが、今回の留学経験を経て、かなりハードルが下がったように思いました。英語圏に出てもなんとかコミュニケーションをとることができるということが今回の留学でわかったので、自分の行動できる範囲がすごく広がったように思います。また、海外の人たちのコミュニケーション能力自体からも学べることが多く、自分から行動を起こすことの大切さも学ぶことができました。これからはこの経験を活かして、今までよりもっと多く行動を起こして、自分でできることもどんどん増やしていこうと思います。
5. 自由記述	とてもいい経験になりました。ありがとうございました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者G】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をした理由は、留学を通して海外の人々とのコミュニケーションをとる事ができたり、普段とは違う人、言語、街で生活をして日本とは異なる文化を肌で感じることができると思ったからです。自分にとってより難しい環境に身を置くことでさまざまな事を学び、さまざまな経験をして行くことで吸収できることが多くあると考えました。この経験がこの先の人生において自分自身の大きな成長にもつながっていくと思ったので、フィリピンへ留学する事を決意しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業面では2グループに分かれて授業を受ける事ができ、少人数の授業と言うこともあり発言する機会がよくありました。クラスメイトや先生が真剣に聞いてくれ、分からない事があればみんなで助け合う事ができました。生活面では、寮で生活をしていましたが、お風呂、トイレ、洗面所などは全て共用のため自分勝手な行動はできず、常に気を配って時には助け合いながら生活をしていくという環境で過ごしました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	今回の留学は、海外の人々とコミュニケーションを取り、日本とは違った文化、言語、街で生活をして成長すると言うことを目標にしていました。この目標は達成できたと思います。海外の人とのコミュニケーションは言語が異なり、自分自身英語がペラペラ喋れるわけではないので難しい事が多くあったのですが、ジェスチャーなどを使い理解してもらおうと努力をしました。文化については生活面では、トイレにトイレットペーパーがない事が多く、またトイレットペーパーを流してはいけないことや、信号機がない、ショッピングモールに入る際は荷物検査があるなど日本とは違う習慣が多くあり、慣れるのに少し時間がかかったなと感じました。フィリピンの人たちはとても優しく協力的で、授業で大学の学生にインタビューをする事があり、断らずに真剣に考えて答えてくれました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	フィリピンの人は街のことを何も分からない私たちに優しく教えてくださったので、日本に来ている観光客の人が道に迷っていたり困っていたら、積極的に声をかけ助けられるようになりたいです。この先もっと海外でいろんな経験をしていきたいとより強く感じたので、また留学に行ける機会があれば積極的に参加したいと思っています。言語の勉強をしたり、海外のことを詳しく調べたりして、行きたい国を見つけたいです。
5. 自由記述	シリマン大学、九州国際大学の学生たちと仲良くなる事ができ、何より神戸国際大学の仲間との仲をさらに深める事ができ、留学に参加して良かったと思いました。

海外留学報告書

【参加者H】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私がフィリピンに留学した理由は2つあります。まず1つ目は、まだ人生で1度も海外に行ったことがなかったので、1度人生の経験として留学してみたいなと思ったからです。でも1人で行くのは怖かったので、大学の留学なら安心だと思って参加しました。2つ目は英語を話せるようになりたいと思ったからです。英語を話せると今後の人生の視野が広がると考えました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業は私たちが高校の頃にしていた長文読解や英単語しりとり、シリマン大学の学生にインタビューなどをして交流しました。他には音楽の歌詞から英語を学んだりもしました。生活面では、苦勞したのはトイレです。日本のトイレには紙が常備されていますが、フィリピンは違います。紙は自分で持っていかないとダメです。また紙も流せないで、その習慣に最初のうちは慣れなくて大変でした。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	まず1つ目はフィリピンの文化を体験出来たことです。私が印象的に感じた文化は食べ方です。日本ではご飯はお箸やフォークで食べるのが主流ですがフィリピンは手で食べ物を食べるのが普通です。その文化に私は驚きました。2つ目は、フィリピンの人はとても優しく、フレンドリーな人が多かったことです。積極的な人が多く、話しかけてくれる人が多かったおかげで英語で色々会話が出来ました。3つ目は、フィリピンについて知識が身についたことです。フィリピンではショッピングモールや銀行などあらゆる場所に警備員がいました。なぜ警備員が沢山いるか気になったので現地の人に聞くと、フィリピンは犯罪件数が多いから人が集まる所には警備員がいるんだよと教えてくれました。様々な違いには驚くことが多かったです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私がこのフィリピン留学経験で得たものは、課題解決力とチャレンジ精神です。現地で困ったときにはすぐ自分で解決するように心掛けていたので、この経験を活かして今後もすぐ解決できるように行動していきたいと思えます。チャレンジ精神も似たような感じですが、現地では新しいことばかりで、毎回チャレンジしていったのでこの経験を活かしていきたいです。
5. 自由記述	

海外留学報告書

【参加者1】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は大きく分けて2つあります。1つ目は2023年のイギリス留学で学んだことや、悔しかったことなどを活かしてずっと勉強してきたことを、どこまで発揮し通用できるか知りたかったためです。2つ目は、今まで勉強してきた英語はなまりなどが一切ないきれいな英語ですが、国によって違う英語を体験しておくのは将来色々な国に行くのが目標の自分にとってとても良い経験になると思ったからです。3つ目は現地の人と沢山話すことにより、更なるスピーキング能力とリスニング能力の向上を目指したからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地の授業は月曜日～金曜日の平日の週5日で1日3～4時間の授業と放課後のバディタイムです。授業もスピーキング、リスニング、ライティング、などジャンル別にあり、それとは別に週に2回高校生の授業に入り、一緒に授業を受けるものがありました。各グループに日本人は一人だけで、大きく英語力が伸びるきっかけの一つだったと思います。現地での食事は自炊ができないため、主に外食が買ってきたものを寮で食べていましたが、物価が安いのでかなり生活しやすかったです。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	今回の留学で、一番の目標はスピーキング能力とリスニング能力の向上でした。沢山話すきっかけがあったことによりかなり達成度は高かったと思いますが、まだまだと思わせる点や課題も沢山ありますのでここで満足せずにこれからも勉強していきたいと思っています。今回の留学で感じたのは現地の学生のレベルの高さです。シリマン大学の学生全員がタガログ語、セブアノ語(フィリピンの島々で使われている言語)、英語を話すことができ、各学科での勉強も自分から見るととても難しいものでした。他に街中で気づいたのは治安の良さです。行く前は海外だからという理由でかなり治安が悪いものだと思っていましたが、いざ行ってみると大きな経済的格差はあるものの店には一人必ずセキュリティーがいてとても住みやすかったです。警戒するのはとても大事ですが、行く前から決めつけるのはよくないと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は今回の留学を最後の留学にするつもりはありません。卒業後はワーキングホリデーも視野に入れていきますし、ここまで自分の中で力を入れてきた英語を何かに活かせるようにしたいと思います。だからこそ、留学前に少し落ちていた英語の勉強へのモチベーションが再び上がった現状を維持して、レベルアップしていきたいです。英語だけではなく、今回の留学でできた仲間とも機会があればまた助け合えるような関係を維持し、国境を越えた友達から得たことなども活かしていきたいです。
5. 自由記述	

提出日 2024 年 3 月 13 日

海外留学報告書

【参加者J】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	2	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が今回このプログラムに参加した理由は、語学の向上と海外での経験を増やすのにいい機会だと思ったからです。また、日本と違った文化や生活にも触れたかったからです。フィリピンでの英語学習は、マンツーマンでより積極的に学べるので語学スキルも上がり、コミュニケーション能力もつくると期待していました。フィリピンは暑いけれど日本との時差が1時間だけで小さく、比較的物価も安く住みやすそうだと思います。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業では、まずリスニング、リーディングなどスキル別のクラスに分けられました。それぞれクラスでペアやグループになり問題を解いたりプレゼン発表をしました。前に出て発表する機会が多く、とても楽しい授業でした。土曜日にはシリマン大学が他大学と交流する機会や、ドゥマゲッティの街を回り現地の食事や文化に触れる機会を作ってくださいました。たくさんの人と関わって良い経験が出来ました。また、授業以外でもバディー達と一緒に夕食や買い物に行きました。行ったことのない場所にたくさん連れて行ってもらいました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	今回の留学では積極的にバディーや先生など現地の人と関わり、そしてレベルの高い授業のおかげで目標にしていた語学力の向上ができたと思います。特に、たくさんの人と話してリスニング力がついたと思います。また、フィリピンで生活して日本と違う環境でたくさんの貴重な経験をしました。まず、フィリピン人は親しみやすく、困ったときや助けが必要なおとぎにも協力的で、親切に接してくれる温かい人がたくさんいました。また、フィリピンはバイクの利用が多く、交差点には信号がないことに驚きました。そして、フィリピンは貧富の差が激しいので、街で物を売っている子どもや路上で生活している人がたくさんいました。日本では体験出来ないことばかりでした。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回留学をして他国の文化を知ることができたので、今度は日本の文化を世界に伝えられるようにしたいと思いました。また、留学先での異文化体験で国際ビジネスや国際関係の分野での仕事に興味を持ちました。留学先では環境や価値観など、自分と全く違う背景をもつ人たちと関わりました。日本では当たり前だと思っていたことが他国では非常識になるといった文化や習慣の違いを体験しました。もっと異文化を理解し、異なる背景や価値観を尊重する能力をつけたいです。語学スキルも上げ多くの国へ行き、良い経験をしたいです。
5. 自由記述	いい人達に恵まれ今回のフィリピン留学はとても楽しめました。良い経験が出来て良かったです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 3 月 4 日

海外留学報告書

【参加者K】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	僕は元々海外に対して強く興味を持っていました。小学校の頃に海外の先生の授業を受ける機会があり、そこで海外の人が英語で話しているのを見て違う言語もあるのだと実感し、他の言語も学んでみたいと思いました。今回この海外研修という授業で英語を学べると知り、履修をしました。フィリピンに行って話しているのを聞き取れるようになり、自分が伝えたいことは伝えることができ、上手くコミュニケーションが取れるようになるのが目標でした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地の海外研修の活動内容は、主に海外の人とコミュニケーションを取ることです。最初は、全く何を言っているのか理解することができませんが、コミュニケーションを重ねるうちに英語を聞き取る力がつき、聞き取れるようになりました。僕は元々英語を話すことがあまりできませんでした。しかしこの海外研修を通じて、海外の人とコミュニケーションを取り、段々と話せるようになり思っていることを伝えることができました。生活面は日本と違い、食に関しては焼き方も味も日本と異なっていました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	留学の成果に関しては、元々自分が伝えたいことを伝えるのが目標でした。その目標については達成することができたと思います。ご飯などを食べに行ったときに、以前は英語で伝えられませんでした。留学を通じて伝えることができるようになり、海外研修に行って良かったと強く実感しました。フィリピンで受けた授業の中に、言語の違いのビデオを見て発音やアクセントの違いを学ぶ機会がありました。例えば、アメリカ英語では「tomato」を「tuh-MAY-toh」と発音するのに対し、イギリス英語では「tuh-MAH-toh」と発音します。また、母音や子音の発音、アクセントのリズムや強勢の置き方も異なります。その他にも、オーストラリア英語やカナダ英語、ニュージーランド英語など、さまざまなバリエーションがあり、他の国へも行きたいなと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	海外研修で得た経験や知識は、日本でさまざまな形で活かすことができます。例えば、現地で学んだビジネス文化や戦略を日本のビジネスに導入することで、国際競争力を高めることができます。また、現地での言語やコミュニケーションの経験を活かして、国際的なプロジェクトやチームでの活動を円滑に進めることができます。さらに、異なる文化や視点を理解することで、日本国内での多様性や国際交流の推進にも貢献できます。
5. 自由記述	フィリピンでたくさんのことを学びました。言語の違いや文化の違いなどがあって最初は慣れるのが大変でしたが、日々を重ねるうちに慣れてきて、生活することができました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者L】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した理由は、新しい文化や言語を学び国際的な視野を広げたかったからです。異文化への理解を深め国際的な経験を積むことで、自己成長し人間的な豊かさを得たいと思いました。留学の目的は、専門知識を深め国際的な視野を持ち、グローバル社会で活躍する準備をすることです。留学を通じて異なる価値観や文化に対する理解を深め、国際協力と交流に貢献したいです。また留学先での学業成績を向上させると同時に、国際的なことについてもっと学びたいです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	留学前は、英語がとても苦手でテストなどでは点数が取れないことが多く、英語が本当に嫌いで困っていました。でも、フィリピンに行き、毎日授業をしているうちに英語ができるようになっていき、とても楽しくなってきました。わからない単語があったら自分から調べて、buddyなどに喋ってみて話せた時に達成感があり、とても楽しく英語を学べました。フィリピンの授業はとても楽しく発音を始め、色々なことを丁寧に教えていただきました。高校生の授業に参加した際に、日本の高校生の英語レベルより圧倒的に高く驚きました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	留学に行き、自分の価値観はとても変わりました。まず一つ目に私は海外を経験したことがなく、留学に行く前に先生から「日本とは違う」と言われても、「文化で生活習慣なんて変わるわけない」と思っていました。でもいざフィリピンに着いて、6歳の男の子や3歳くらいの女の子がお金を欲しいと自分の所にきた時に私はとても驚きました。日本では綺麗な服を着て学校に通うのが当たり前となっている中で、フィリピンではまともな教育を受けられないし、寝る場所もないのかと衝撃を受けました。他に驚いたのはトイレの使い方についてです。日本ではトイレットペーパーを流して終わりですが、フィリピンでは横に置いてあるゴミ箱に入れて紙は絶対に長さないというものでした。衛生的に自分にとってはつらく、本当に3週間生活できるのか不安でしたが慣れていきました。実際に3週間生活して、とても多くのことを学べて良い経験になりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回フィリピン留学に3週間行った中で色々なことが学べました。日本で当たり前なことがフィリピンでは当たり前ではなかったりなど、その国、地域によって文化や生活環境は全く違うと気づきました。3週間で今まで見てこられなかった世界を見ることができ、考え方が大きく変わりました。そして色々な人と交流して楽しかったです。これからフィリピン以外にも様々な国に行き、日本とは違う文化などを知って、将来の夢に繋げられたらと思っています。
5. 自由記述	これから大学在学中に色々な国に行きたいです。そのためにも英語の勉強を頑張り、単位を早く取得し、1人で海外に行けるようにまだなれたらいいなと思います。この3週間で本当に価値観が変わり良い経験ができました。

海外留学報告書

【参加者M】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私の両親が自分と同じくらいの歳の時に海外に行った経験があり、海外の良さを幼い頃から教わっていたのでずっと海外に行きたいと思っていたのが今回参加した理由です。海外に行くにあたり目標だったのは、現地の人とたくさんコミュニケーションを取り、現地の人の留学生やお客さんに対する気持ちや価値観を知ることです。また、今の自分の英語力で英語を話す人とのどのくらい会話できるのかを知り、英語のスキルを上達させることも目標でした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地の大学の先生や学生、寮母さん達が私達を明るく迎え入れてくれました。授業では自分たちのレベルに合った授業をしてくださり、分からない単語フレーズを質問しやすい雰囲気だったので、自分の英語力も少しは上がったと思います。また、授業の中でフィリピンの主流の食べ物を紹介したり、市場を案内してくださいました。バディータイムには宿題を手伝ってもらったり一緒にご飯を食べに行ったりしたおかげで、コミュニケーションもたくさん取れて楽しい時間になりました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	留学の目標であった、現地の人とコミュニケーションを取るというのは、バディーと話したり、授業が終わってから一緒にご飯を食べに行ったりする中で会話の機会が多々あり、しっかりできました。また、色々な人と話す中でフィリピンの文化や人の価値観も知ることができ、自分の目標を達成することができたと思います。そして日本人は親しくなるまでは距離があるけれど、フィリピンでは初対面でも積極的に話しかけてくれて、日本とは全く違うところが多くてとても影響を受けました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学を経て、海外の人の温かさなど日本とは違った良さを実感しました。自分で英語を勉強してもっと海外の人とスムーズにコミュニケーションを取れるようになり、ヨーロッパなど様々な国に行ってみたいです。英語のスキルもレベルアップさせ、将来的には国際的な会社で働き、日本の会社が海外と交流を持てるようにしたいと思っています。実際に海外に住んで、積極的に海外に関わっていき、フィリピンで学んだ良い部分を自分の今後に取り入れていきたいと思っています。
5. 自由記述	今回の留学は興味を持っていた時に先生から誘っていただき参加しました。最初は不安なところが多くあったけれど、本当に先生方がサポートしてくださり無事研修を終えることが出来ました。また一緒に行った仲間が本当に良くて、分からないところを教えてください、寮でもとても楽しい時間を過ごさせてもらいました。すごく影響を受けた部分が多いのでまた海外に行きます。

海外留学報告書

【参加者N】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>私は小さい時から外国の人と喋るのが好きでした。生まれた場所が沖縄ということもあり外国から来る観光客も多く、親戚にも英語の先生をしている人がいてよく夏休みには英語のトレーニングをしていました。そこから中学に上がり3週間アメリカに短期留学に行き、さらに海外へ行きたいという気持ちが高まりました。大学に行ったらたくさんの留学プログラムに参加し、そこで培った英語力で英語を使った職業につこうと思い、1回生のこのタイミングでこの研修に行くことにしました。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>平日月曜日から金曜日は日本の大学と同じように大学で英語の授業を受けます。日本との違いは1つの授業1時間と短く集中しやすいことです。週に2回は高校生のクラスに入り、1対5になり英語の勉強をします。休日は、土曜日にアクティビティに参加します。例えばフィリピンの食文化や伝統的な文化を肌で感じられるように、現地の先生がついて色々な場所に連れて行ってくださり、バディーとは仲を深めるためにBBQをしたりします。日曜日は、自分達で街に出て観光したり買い物をしたりします。大学の授業が終わった後、バディーと一緒に宿題をしたり、バディーのおすすめの飲食店や喫茶店に行きおしゃべりをしました。</p>
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	<p>目標の達成度は分野によって違います。リスニングは元々少しできたので、もっとスキルをあげて的確なアンサーができるようになるのが目標でした。目標には少し足りませんでしたが、前よりもわかる単語が増えたしネイティブの発音にも慣れました。スピーキングに関しては元々わかる単語を繋げて喋ることが多く、相手に分かりにくい伝え方をしていました。ですが、今回の留学で大まかな文法を覚えられたので、前よりはるかに良いスピーキングが出来るようになりました。しかし未だにリーディングとライティングが苦手なので、スペルをもっと覚えられるようになりたいです。新しく発見したことは、日本がどれだけ恵まれているかです。しかし恵まれているのに日本人は不満を持っていたりそれが当たり前になってしまっているので、努力をする人が少なくなってしまうので、それに比べてフィリピンの学生は、自分の将来のために大学で多くのことを学ぼうとしてとても刺激を受けましたし、同じ学生としてとても尊敬しました。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>この留学を活かして、日本で道に迷ってる外国の方や観光に来ている外国人と積極的にコミュニケーションを取り、日本の良さや日本の文化を教えられるようになりたいです。私は将来英語を使った職業につきたいなと思っており、そのためにこれからももっと英語力を上げていきたいと思えました。今回の留学で新たに海外に移住してみたいという夢もできたので、大学にいる間にたくさんの留学や英語の勉強をして、卒業後そのまま海外で職につけるようになりたいです。</p>
5. 自由記述	<p>本当に楽しくて充実した留学プログラムでした。本当にありがとうございます。</p>

提出日 2024 年 3 月 12 日

海外留学報告書

【参加者〇】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が今回この留学に参加した理由は、まだ行ったことのない国だったので実際に行って現地で文化を体験し、現地の友達も欲しいなと感じたからです。自分の英語力の更なる向上だけではなく、フィリピンの英語がどんなものか、日本の大学生とフィリピン大学生の雰囲気の違いや勉強に取り組む姿勢の違いなども知りたいと思いました。また、日本とは異なる文化の中で様々な問題に直面することで、自分の甘い考え方を変えたいと考えました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	シリマン大学の授業は全て英語で行い、日本とは全く違った英語教育で面白いなと思いました。そして、日に日に自身の成長を感じながら充実した毎日を過ごせたのでよかったです。日本よりもアクティブな授業も多く、教え方もわかりやすく楽しく学べたこともよかったです。生活面ではフィリピンに行くとすぐに、日本よりもバイクの数が圧倒的に多いことに驚きました。また路面状況も日本ほど整っておらず、信号もなく、日本との違いが新鮮でした。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	実際に現地の大学に行き現地の大学生と交流し、日本の大学生と違うなと感じるところが多くありました。まず、日本では大学は人生の夏休みと言われていて、大学時代は遊んで過ごす人が多いと感じます。しかしフィリピンの大学生は、みんな勉強熱心で夢があり、夢を叶える為の勉強を必死にしていました。また、授業で高校生と関わる事があり、一緒に授業を受けた時に、日本では大人しい子がクラスに数名いますが、フィリピンの高校生はみんな騒ぐときは騒ぎ、しっかり授業を受けるときは受けて良い雰囲気だなと感じました。敷かれたレールを歩む人生ではなく夢に向かって頑張っている人が多い現地に行き、自分も変わらないといけないと深く思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学で得た視野の広さ、多面的な方面から物事を見る力を日本人、外国人問わず同僚や顧客とのコミュニケーション、人間関係の構築、会社でのリサーチ・プレゼンなど様々な場面で活かしていきたいです。また、ライフスタイルや文化が違う環境で暮らしたので、日本よりも大変なことを多く経験しました。そこで得た逆境への強さやバイタリティを活かし、逆境に負けず苦しいことを克服していきたいです。海外で身に付けたコミュニケーション能力を活かし、人を気遣いながら自分の思ったことをしっかりと伝えられるようになれば、無駄な誤解や衝突も解決できると思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者P】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	自分が留学に参加した理由は2つあり、1つ目は英語力の向上。2つ目は日本とフィリピンの違いを知るためです。日本の英語の授業では日本語を交えながら話すことが多いので、単語の細かい意味や発音の部分などは詳しく学習できないと思います。留学に行くことによって日々の生活のすべての場面や言語が英語に変わります。また現地の人と話すことによってよりリスニング力やコミュニケーション力の向上につながっていくと感じます。日本の授業や教科書で学んだ言葉を活かし、その国を体験しながら実践的に学ぶことによって相手の感情、意思、意見を読み取るスキルが身につくと思います。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では平日は授業、週末や空き時間はバディタイムや色々な所へ出かけていました。毎日1時間目から4時間目がありその中でspeaking, writing, readingを学んでいました。どの先生も優しく丁寧に教えてくださり毎日楽しく英語を学んでいたため、1時間の授業があつという間に終わっていききました。最も思い出に残っている授業は日本人5人とシリマン大学の1クラスが関わる授業でした。毎回テーマがあり、グループで課題に対する解決策を考えプレゼンテーションをしました。みな真剣に解決策を話し合い意見を交換していて素晴らしいと感じました。困っていると相手の学生が優しく寄り添ってくれてとても嬉しかったです。生活で印象に残っていることは海に行ったことです。朝早くからすごく遠いところまで行きました。とてもきれいな海で朝は潮が満ちていないので海の上を歩くことができますが、昼になると満潮ですごく深くなりました。とてもきれいで感動しました。昼は船のうえでみんなで仲良くランチを食べて最高の思い出になりました。イベントには全力で取り組み、球技大会は学部対抗別で朝から晩まで競技を行っていました。生活ではトイレにトイレットペーパーがなく持ち歩かなければいけませんでした。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	今回の留学ではたくさんの経験を得ることができました。英語の勉強、フィリピンの仲間、日本の仲間たちとすごく楽しい3週間になりました。最初にシリマン大学の先生とコミュニケーションを行い会話力をもとにクラスを振り分けられました。私はあまり話すことができなかったのでもう一番下のウォータークラスでした。先生方が丁寧に指導してくださったおかげで、聞く力や話す力が伸びました。放課後バディという時にも簡単な言葉しか聞き取れなかったのが、先生や周りの学生などの協力もあってある程度聞き取り話せるようになりました。本当にシリマン大学の方々には感謝しています。この研修では日本人の学生一人一人に、シリマン大学の学生がバディとしてつきます。ものすごく緊張しましたが、バディがフレンドリーに優しく接してくれたことでだんだん慣れていきとても仲良くなりました。自分たちにわかりやすい英語でしゃべってくれたおかげですごく会話が弾み、フィリピンと日本の文化を共有したり、週末には食事に行きおすすスポットに行ったりとすごく楽しい思い出を作ることができました。卒業式の時には全員のバディが集合しダンスやスピーチを行い、より仲を深めることができましたと思います。別れが悲しくてバディや自分たちも号泣しました。互いに泣けることができることはとても素晴らしいと思います。もう一度フィリピンに戻りまた一緒に遊びたいです。最後は日本の仲間です。今回の研修の仲間は最高の仲間達だったと思います。フィリピンに行くまでは少し会話をする程度でしたが、話してみるとみんなユニークでポジティブですごくいい人たちでした。その仲間たちと海に行ったり食事に行ったり、寮でゲームをしたりと人生でも忘れることができない思い出になりました。社会的に見てみるとフィリピンは貧富の差が激しいということが分かりました。マニラではストリートチルドレンが多く街を歩いていると5歳くらいの子供が赤ちゃんを抱えながら路上に座っていたのを見て驚きました。自分たちが3週間滞在したドウマゲッティという町の人々はとても優しくすごく仲間思いでフレンドリーでした。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回のフィリピン英語研修はすごく自分の力になったと思います。今まで英語の授業を受けたときは少ししか読み書きができませんでした。しかしこの研修に参加し現地の人と関わったことで、読み書きがすごく上達しました。この経験を活かし、海外に行った際には英語を話したくさんのコミュニケーションをとってたくさんの仲間を作っていきたいです。次に行ってみたい地域はヨーロッパです。ヨーロッパでは美術館や本場のサッカー・ハンドボールを見学し、現地の英語を学習したいと考えています。
5. 自由記述	すごく良い経験になりました。今回のフィリピン英語研修に参加して本当に良かったと思います。今後このようなプログラムがあった際には参加したいです。この研修で海外のことについて詳しく知ることができました。次回参加する時もこの経験を活かしていきたいです。今回の研修をサポートしてくださった先生方、本当にありがとうございました！

海外留学報告書

【参加者Q】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が今回このプログラムに参加した目的は、英会話をできるようになること、現地に行って環境や文化を学ぶこと、楽しむことです。一切日本語が使用できない場所で実際にフィリピンの方々と交流し、コミュニケーションを取るためには必ず英語を使わないといけません。そのため新しい単語がたくさん身に付き、聞くことも話すこともできなかった私がコミュニケーションを取っていると実感できました。シリマンの学生と文化の違いを話したり、教えあったりしました。日本で単語や文法の勉強をして、また海外留学に挑戦したいです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	一日3コマの授業があり、週に2度、高校生との交流がありました。授業は10人の少人数形式で行われ、先生が優しく教えてくださいました。課題が出た日にはバディータイムにシリマンの大学生に教えてもらい、課題がない日にはご飯を食べたり、ショッピングをしたり、観光したりしました。神戸国際大学の学生とノースポイントなどでご飯を食べたり、ツアーに参加して海や湖にも行きました。留学の期間中に丁度、シリマンの学生たちがスポーツ大会に励んでおり、その応援にも行きました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	現地の方とコミュニケーションを取ることが目標だったので、その目標は達成できたのかなと思います。ですが、日常会話ができるようになるという目標には大きく届きませんでした。私はこの留学を通して、聞くにも話すにも単語を知らないといけないということを改めて強く感じました。単語が分かるだけで、文法が分からなくても相手が何を言いたいのかが理解できることに気づきました。最初はずっと通訳機が必要でしたが、この3週間で多くの単語を覚え最後には、完全にとまではいきませんが、使う回数を減らすことができました。フィリピン人は、とてもフレンドリーで優しいこと、時間にはあまり厳しくないことが分かりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学でいろいろな国の方と関わり国際交流ができたので、様々な文化を尊重してこれからも色々な人と関わっていきたいです。留学に行き日本を出て全く違う生活をしたことで、行動力が付き自分にも自信が付きました。コミュニケーションはもちろん、フィリピンで学んだことを日本でもたくさん使っていきたいです。また、これからはもっと英語力をつけて英語に関する資格を取得し、就職などで活用していきたいです。
5. 自由記述	

提出日 2024 年 3 月 7 日

海外留学報告書

【参加者R】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	これから就職活動をして仕事をしていく上で英語力があつたら役に立つと思い、自分の英語力を向上させるためにこの研修に参加しました。英語の中でもいつも試験が一番点が低いのがリスニングで、一番苦手でした。なので、リスニング力を上げるには英語圏の国に行って、現地で英語に囲まれながら生活するのが一番効果的だと思いました。また、スピーキングも自分の話す英語がどのくらい通じるか海外に行ってみたくて、フィリピンに三週間行くことに決めました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	まず、一日目にクラス分けをするための面接が行われました。クラスはAIRとWATERの2クラスで、その中でAとBに分けられました。AIRとWATERで授業のスケジュールが違って、それぞれ1日60分の4コマの授業が月曜日から金曜日までありました。授業は、Conversation, Listening-Speaking, Reading-SpeakingそしてEnglish for Academic Purposesの4つです。4つ目の授業は、シニアハイスクールの生徒との合同授業で、とても勉強になりました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	私は現地でたくさん英語に触れ、リスニング力を向上させることを目標に留学に行きました。はじめは自分のバディや先生が話している単語が何個か聞き取れるくらいで、内容を全て理解することはできませんでした。そのため話しかけてもらっても、ちゃんと正しい返事を返せているか不安でした。また、自分の話す英語が通じないことも多く、自分から話しかけることに抵抗を感じるようになってしまいました。しかし、毎日の授業や放課後のバディタイムに話をするうちに聞き取れるようになり、相手にもわかってもらえるようになりました。自分の言いたいことが通じるようになると自信が持てるようになり、自分から話す回数も増え、会話する機会が増えていきました。その結果バディと仲を深めることができ、英語力の向上にもつながったので、良かったなと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私はこの留学の経験を仕事に活かしていきたいです。私はお客様と接する接客業に就きたいと考えています。現在日本には様々な国から観光客が訪れており、そのためには英語力が欠かせないと思います。また、英語を話すことができれば仕事の幅も広がると思います。今回初めて海外に行ってみて、観光だけでなく仕事でも海外に行くことができたなら面白そうだなと思いました。これからは筆記の勉強もしながらTOEICを受けるなどして、自分の英語力をもっと上げていきたいと思っています。
5. 自由記述	今回の留学で、英語だけでなく文化の違いも学ぶことができました。日本では経験できないようなことをたくさん経験し、勉強することができて良かったです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者S】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	大学に入ってから、部活やサークルなどにも入らないで、授業もオンデマンドをメインでとっていました。自分が想像していた大学生活とは全然違う日常を過ごしていた時に偶然留学と言う文字を見つけ、友達作りも兼ねて参加しました。元々私は英語が得意ではなかったので、簡単な挨拶やよく使うフレーズが考えなくても自然と出てくるようになったらいいな、という簡単な目標を立てて参加しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業では主にコミュニケーションがメインで、グループで何かを発表したり、外で休憩している学生さんにアンケートを取ったりなど、どれも日本ではあまり経験しない事ばかりでとても楽しかったです。基本は日本人だけでの授業がメインでしたが、週に一度現地の学生さんと混ざって授業を受ける機会がありました。はじめは何を言っているのかさっぱり分かりませんでした。この授業のおかげでリスニング力が鍛えられ、少しだけではありますが行く前と比べると英語を聞き取れるようになった気がします。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	友達作りの部分では、約3週間も同じ時間を過ごしていたので自然とみんなと仲良くなっていました。初めての海外だったのですが、英語が苦手な上手な文を作れなくても、知っている単語を言ってみたりすることがとても大事だと気づきました。相手に伝えようとするのを諦めなければ、相手の方は優しい方ばかりなので何を伝えたいのか汲み取って下さり会話をする事が出来ました。言語は一つのコミュニケーションツールであるだけで、言葉が通じないからと言って、壁を感じなくて大丈夫だと思いました。そして、今回行ったフィリピンでは現地の言葉があるにも関わらず、学生さん以外に店員さんなどたくさんの方が英語をよく使っている場面に遭遇しました。私は、日本にいるから主に日本語だけでも十分に生活することができるだろう、と考えていましたが、この先のことを考えると世界共通言語である英語の勉強に励みたいと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	何事も挑戦する事が大事だと改めて実感する事ができたので、今後も色々な国に行けるように言語の習得に力を入れていこうと思いました。また、異文化交流についても興味が出てきたので、教科書やインターネットで調べて学ぶことも大事ですが、実際に自分の足で現地に行き、地域の方と触れ合いながら文化の交流が今後できたらいいなと思いました。
5. 自由記述	

提出日 2024 年 3 月 4 日

海外留学報告書

【参加者T】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 10 日 ~ 2024 年 3 月 3 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	将来やりたいことが特に決まっていなかったのですが、国際関係に少し興味があったので参加しました。この留学を通して英語力とコミュニケーション能力の向上を目標にしました。大学の英語の授業では全員日本人なので、日本語で話すことがたくさんあり、いざテストなどで英語を話すとなるとあまり話すことができませんでした。なので、日本語が通じない海外で英語を学んでみたいと思いました。また、私は人見知りで、自分から声をかけることが少ないので、この研修を通して少しでも自分から話しかけることができるようになりたいと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業では基礎の文法を学び、ゲームを通して実践したり高校生と一緒に授業を受けたりしました。また、音楽や会話を聞いて文法や単語を学び、故郷や日本のプレゼンもしました。校外学習ではフィリピンの料理を食べ、観光地や歴史博物館に行きました。ほかにも、パディと交流しジェスチャーゲームをしたり、たくさんのお店と一緒に食事に行きました。コンビニも大学の近くにあったのでよく行き、様々なものを食べました。交通手段もどの距離も20ペソととても安かったです。ドゥマゲッティから少し離れたバレンシアにも行きました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	コミュニケーション能力は少し上がったと思います。この3週間でたくさんの人に出会い、たくさん話しました。そのでの会話を通して、自分から話題を出し、質問もしました。最初の方は翻訳機をよく使っていましたが、だんだんと使わないでも相手の話を聞き取り、理解できるようになりました。更に、文法は間違っているかもしれませんが、相手に自力で伝えたりすることもできました。英語能力も少しは向上したのではないかと思います。実際に話すことが英語力が向上する一番の方法なのだと思います。わからない単語があっても、翻訳機を使わずに関連する単語を伝えたり、ジェスチャーを使ったりと、日本語が通じないからこそそのコミュニケーションを取ることができました。また、この留学を通して様々な文化に触れることができました。特に食文化は新しい事や初めてのことはばかりでした。手で食べたり、初めて食べるものなど、たくさん挑戦しました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学を通して、国際関係により興味を持ったので、もっと英語を勉強しようと思いました。また、留学に行ってもっとたくさんの人と英語でコミュニケーションをとりたいなと思いました。たとえ言葉が通じなくても、ジェスチャーなどのボディランゲージによって伝わることもあること、たくさん文化や様々な人がいることなどたくさん学ぶことがあったので、もっとそのような違いを知りたいと思いました。この留学経験を、今後の英語学習や就職活動での強みにしたいと思います。
5. 自由記述	たくさん経験をした濃い3週間でした。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

《留学前後における意識調査》

留学前後における意識の変化を比較し、留学の成果を検証することを目的に、出発前・帰国後に下記のアンケートを実施。

1. あなたの英語能力についてお伺いします。(英語コミュニケーション能力)

- 全体的な英語のコミュニケーション能力に自信がある。 ()
- 特にリスニングの(聞く)能力に自信がある。 ()
- 特にスピーキングの(話す)能力に自信がある。 ()
- 特にライティングの(書く)能力に自信がある。 ()
- 特にリーディングの(読む)能力に自信がある。 ()

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。(自己効力感)

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。 ()
- 海外留学プログラムの目的を理解している。 ()
- グローバルシーンにおいて実践的な英語を使うことができる。 ()
- ライティング(文書作成、理論的思考)の基本を身につけている。 ()
- 英語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。 ()
- グローバルシーンにおける対人関係(リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む)を構築することができる。 ()
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。 ()
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。 ()
- これからの就職活動について自信がある。 ()
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。 ()

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。(異文化意識)

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。 ()
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。 ()
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。 ()
- 自国文化について相手に伝えることができる。 ()
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。 ()

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。(キャリア展望)

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。 ()
- 自分が就きたい仕事が決まっている。 ()
- 自分が将来就きたい仕事のためにどのような能力が必要かを理解している。 ()
- 国際的な仕事に関心を持っている。 ()

アンケート 回答選択肢

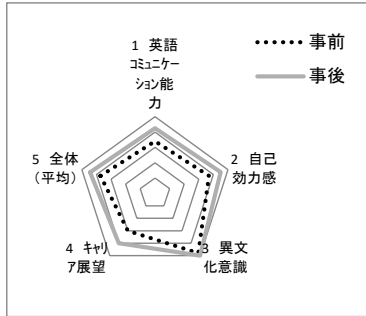
1. 全くあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. どちらでもない
4. だいたいあてはまる
5. よくあてはまる

2023年度後期 フィリピン・英語研修 参加前後における意識調査アンケート結果

対象者:20名

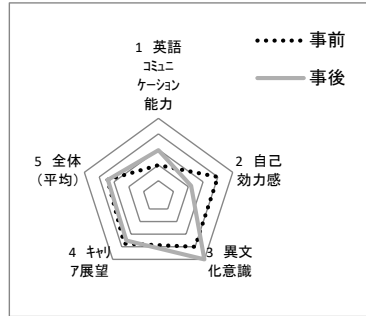
【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.4	4.3
2 自己効力感	3.7	4.5
3 異文化意識	4.8	5.0
4 キャリア展望	3.0	4.0
5 全体(平均)	3.7	4.4



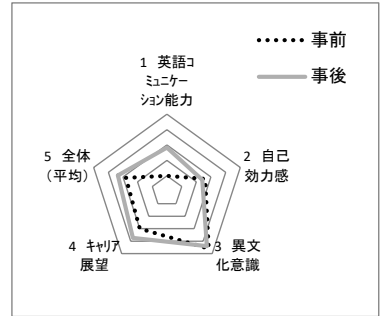
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.0
2 自己効力感	4.0	2.2
3 異文化意識	4.0	5.0
4 キャリア展望	3.8	3.5
5 全体(平均)	3.4	3.4



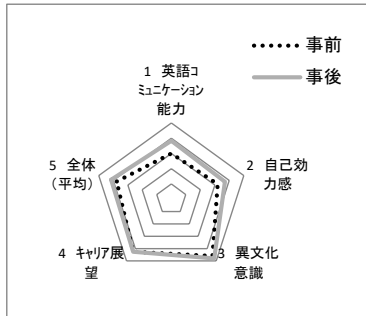
【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	2.8
2 自己効力感	2.6	2.4
3 異文化意識	4.6	4.4
4 キャリア展望	3.0	3.8
5 全体(平均)	2.8	3.3



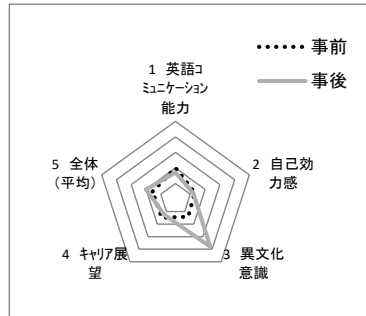
【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.8
2 自己効力感	3.2	3.7
3 異文化意識	4.6	4.8
4 キャリア展望	4.3	4.3
5 全体(平均)	3.8	4.1



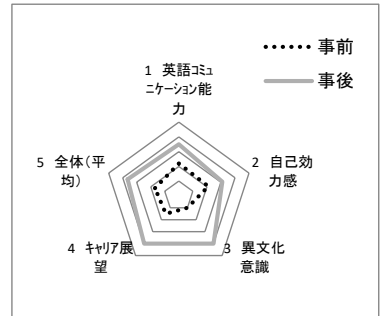
【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	1.7
2 自己効力感	1.3	1.2
3 異文化意識	1.4	3.8
4 キャリア展望	1.5	1.3
5 全体(平均)	1.6	2.0



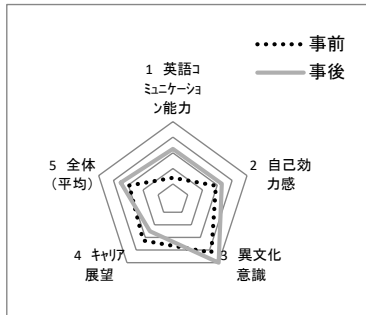
【参加者F】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	3.5
2 自己効力感	2.1	3.1
3 異文化意識	1.0	4.0
4 キャリア展望	1.5	4.0
5 全体(平均)	1.7	3.7



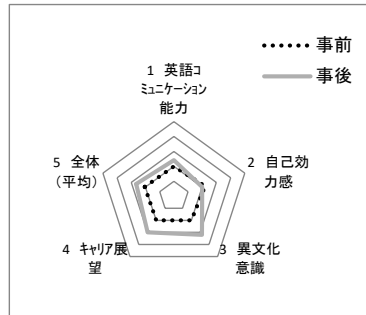
【参加者G】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.4	3.3
2 自己効力感	2.9	3.3
3 異文化意識	4.2	5.0
4 キャリア展望	3.3	2.5
5 全体(平均)	2.9	3.5



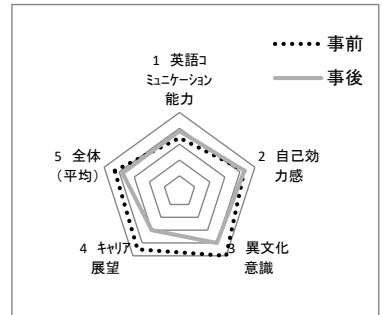
【参加者H】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.4
2 自己効力感	2.2	2.0
3 異文化意識	2.0	3.2
4 キャリア展望	2.0	3.0
5 全体(平均)	2.1	2.7



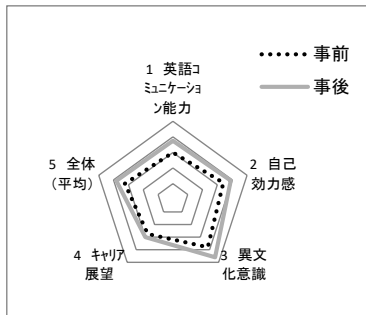
【参加者I】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.4	3.8
2 自己効力感	4.3	4.3
3 異文化意識	5.0	4.0
4 キャリア展望	4.5	3.0
5 全体(平均)	4.3	3.8



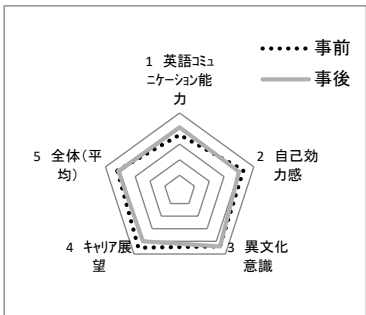
【参加者J】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.8
2 自己効力感	3.4	3.9
3 異文化意識	3.8	4.6
4 キャリア展望	2.8	3.0
5 全体(平均)	3.2	3.8



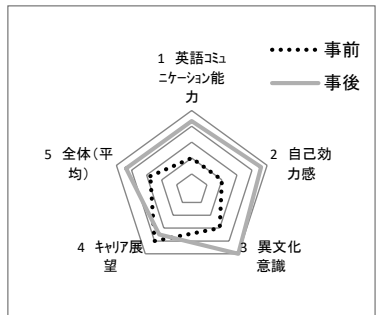
【参加者K】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.6	4.1
2 自己効力感	4.3	4.0
3 異文化意識	4.4	4.4
4 キャリア展望	4.5	4.0
5 全体(平均)	4.2	4.1



【参加者L】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	4.3
2 自己効力感	2.0	4.6
3 異文化意識	3.0	5.0
4 キャリア展望	4.0	3.5
5 全体(平均)	2.8	4.4

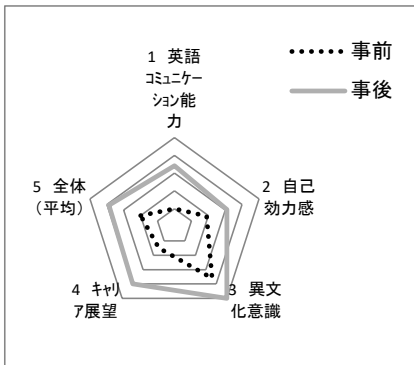


2023年度後期 フィリピン・英語研修 参加前後における意識調査アンケート結果

対象者:20名

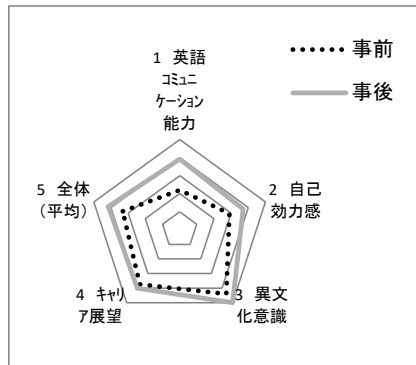
【参加者M】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	3.4
2 自己効力感	1.9	3.1
3 異文化意識	3.6	5.0
4 キャリア展望	1.5	4.0
5 全体(平均)	2.0	3.9



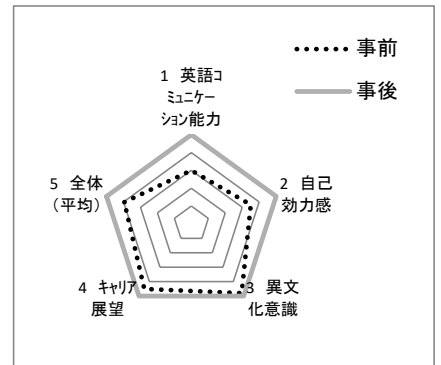
【参加者N】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	3.9
2 自己効力感	2.9	3.7
3 異文化意識	4.4	5.0
4 キャリア展望	3.8	4.0
5 全体(平均)	3.3	4.2



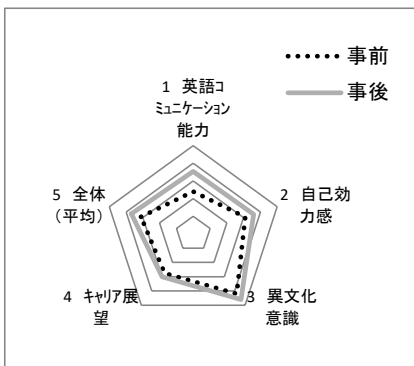
【参加者O】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	5.0
2 自己効力感	3.5	5.0
3 異文化意識	4.8	5.0
4 キャリア展望	4.5	5.0
5 全体(平均)	4.0	5.0



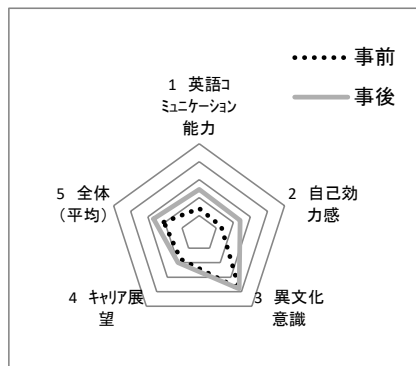
【参加者P】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.4	3.5
2 自己効力感	3.1	3.6
3 異文化意識	4.2	4.6
4 キャリア展望	2.8	3.0
5 全体(平均)	3.1	3.7



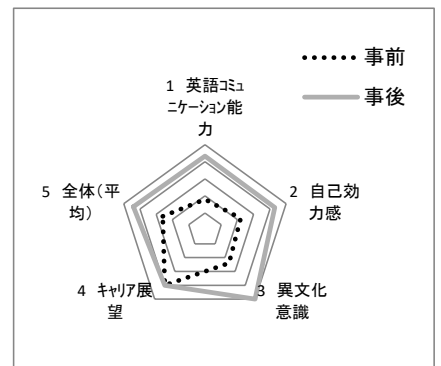
【参加者Q】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.4	2.5
2 自己効力感	1.3	2.4
3 異文化意識	3.8	3.8
4 キャリア展望	1.8	2.0
5 全体(平均)	2.1	2.7



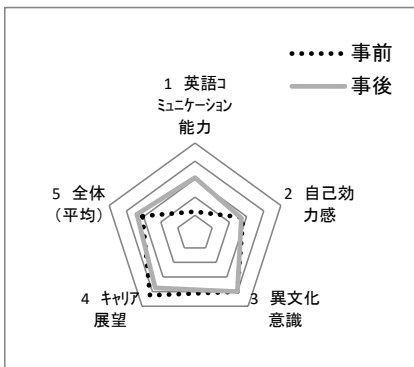
【参加者R】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.8	4.3
2 自己効力感	2.2	4.3
3 異文化意識	2.4	5.0
4 キャリア展望	4.0	4.0
5 全体(平均)	2.6	4.4



【参加者S】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.2	3.1
2 自己効力感	2.8	2.7
3 異文化意識	4.0	4.0
4 キャリア展望	4.3	3.8
5 全体(平均)	3.1	3.4



【参加者T】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.4	3.3
2 自己効力感	2.4	3.4
3 異文化意識	3.6	4.2
4 キャリア展望	4.0	2.8
5 全体(平均)	2.9	3.4

